

**令和3年度**

**第1回八代市デジタル化推進会議 会議録**  
**(令和3年10月27日開催)**

**令和3年11月5日作成**

## 令和3年度第1回 八代市デジタル化推進会議録

開催日時	令和3年10月27日（水） 午前10時30分～午前11時45分
開催場所	八代市公民館 1階研修室
出席委員	石川 真、今田 博士、氏原 耕二、田中 裕一、徳田 武治、 西崎 徳彦、西田 昭博、野田 昌博、村岡 正 以上9名
欠席委員	松本 啓佑 以上1名
事務局	（八代市） 政策審議監 村上 理一 （総務企画部） 部長 稲本 俊一、総括審議員兼部次長 黒瀬 琢也 （デジタル推進課） 課長 鋤田 敦信、課長補佐 田中 博之、係長 坂本 友和、 主査 松田 昭男、参事 垣田 陽子、主事 乙吉 菜緒子 （株式会社 SUNABACO（基本計画策定支援業務受託事業者）） 代表取締役 中村 良
会議資料	【第1回】デジタル化推進会議資料
公開の状況	公開
傍聴	なし
議事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開 会</li> <li>2. 委嘱状交付</li> <li>3. 政策審議監あいさつ</li> <li>4. 会長選任</li> <li>5. 議題 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 会議の公開について</li> <li>(2) 八代市デジタル化推進基本計画の策定について <ul style="list-style-type: none"> <li>・政府等におけるデジタル化に関する動向など</li> <li>・八代市デジタル化推進基本計画策定体制</li> <li>・デジタル化に関する市の取組状況</li> <li>・市民から寄せられた意見</li> <li>・計画に掲載する施策の分野</li> </ul> </li> <li>(3) その他</li> </ol> </li> <li>6. 閉 会</li> </ol>

## ■議事進行・発言要旨

### 1. 開会

### 2. 委嘱状交付

政策審議監より、各委員に委嘱状交付。

### 3. 政策審議監あいさつ

政策審議監 村上 理一

### 4. 会長・副会長選任

会長に田中 裕一氏を選出。

### 5. 議題

#### (1) 会議の公開について

事務局：説明。 ※質疑応答なし

全会一致で承認、原則公開で進めることで決定。

#### (2) 八代市デジタル化推進基本計画の策定について

事務局：会議資料に基づき説明。

<委員意見>

委員：小規模事業者の高齢化が進んでいることもありデジタル化が進んでいない。デジタルがこんなに便利だということを知ってもらふ必要がある。

委員：消防と市との情報共有の強化が必要。援護者の情報や空き家の情報も共有できるとよい。自主防災組織との連携やネット119の登録者増加策が課題。

委員：生活支援コーディネーターによると移動・買い物などで困っている人が多い。業者もあまり対応してくれない。公共交通網の整備に加え、自動運転などの技術を使えないか。

委員：高齢者への対応が必要。事務局にお尋ねする。デジタル化はなぜ必要なのか、メリットをわかりやすく教えて欲しい。

事務局：地域を維持していくために必要となるものと考えている。

委員：計画策定にあたっては、わかりやすい伝え方、誰にでもわかるような言葉選びが必要。また、推進にあたっては、旗振り役と予算が必須。自団体でもデータの管理と整理やいつでも情報発信できる仕組みづくりが課題となっている。

委員：農業従事者の高齢化、後継者不足が課題。その中で、ドローン防除に取り組んでいるが、さらなる高度化のためには、GPS精度の向上が必要。また、GAP商品を目指しているが、産地証明等をつけるために、栽培履歴のデータ化などが必要。

委員：災害時に市のサーバーがダウンしたため、職員個人の携帯でやり取りを行った。市の大本に障害が起こらないよう対応して欲しい。災害対応のためのハード面の整備が必要。

委員：無料WI-FIが使えるところに人は集まる。コミセンや観光地をWI-FI化し、人を呼び込んで欲しい。

農業関係者、ICT、ドローンなどの事業者をデータベース化してはどうか。

情報リテラシーの向上。まずは、町内住民、市政協力員から講習を始めてはどうか。

市民がデジタルを身近に感じるようシンボルマークを作ってみてはどうか。

実現は難しいと思うが、例えばデジタル税の導入を検討してみるのはいかがでしょうか。

事務局：活発なご意見感謝する。いただいた意見については、計画策定の参考にさせていただく。

### (3) その他

次回の会議は、11月下旬開催予定。

## 6. 閉会

**令和3年度**

**第2回八代市デジタル化推進会議 会議録**  
**(令和3年11月26日開催)**

**令和3年12月3日作成**

## 令和3年度第2回 八代市デジタル化推進会議録

開催日時	令和3年11月26日（金） 午前9時00分～午前10時50分
開催場所	八代市公民館 1階研修室
出席委員	石川 真、今田 博士、氏原 耕二、田中 裕一、徳田 武治、 西崎 徳彦、西田 昭博、野田 昌博、村岡 正 以上9名
欠席委員	松本 啓佑 以上1名
事務局	（八代市） 政策審議監 村上 理一 （総務企画部） 総括審議員兼部次長 黒瀬 琢也 （デジタル推進課） 課長 鋤田 敦信、課長補佐 田中 博之、係長 坂本 友和、 主査 松田 昭男、参事 垣田 陽子、主事 乙吉 菜緒子 （株式会社 SUNABACO（基本計画策定支援業務受託事業者）） 代表取締役 中村 良 代表取締役 若林 理恵子
会議資料	【第2回】デジタル化推進会議資料
公開の状況	公開
傍聴	なし
議事	1 開 会  2 議 題 （1）計画策定における個別施策の概要について ・各分野における課題シートの整理 （2）その他  3 閉 会

## ■議事進行・発言要旨

### 1. 開会

### 2. 議題

#### (1) 計画策定における個別施策の概要について

事務局：各分野における課題シートの整理について、会議資料に基づき説明。

<委員意見>

～防災～

委員：避難誘導、道路情報の提供ができる方法、八代市独自の情報提供ができるサイトやLINEでの情報発信などを検討してほしい。

事務局：行政用のサイトの他、住民用のサイトを作りたいと考えている。自分が見たいものをまとめて見れるサイトを作っていく。

委員：災害時の課題、高齢者、弱者への対応必要。遠隔診療をするのであればその仕組みを使って連絡とるなど、情報提供できないか。

分野ごとに横断的に連携することも考えてほしい。

事務局：平時と災害時で取り組みを組み合わせしていく。また、防災は非常時の全体対応なので横断的に進めていく必要があると認識。

委員：防災についての人材の確保はできるのか。

事務局：課題と認識し、進めているところ。

委員：避難時の本人確認が課題だった、そのためにも顔認証システムは必要。また、救急の時にマイナンバーに保険証紐づいて、医療情報入っていると救急の初動対応（情報確認）が迅速になる。

委員：国交省の河川の水位データはあるが、市独自でも支流や避難所にもカメラを設置して市民が確認できる情報を充実してほしい。

市役所の職員が現地に行ったときに職員個人の携帯スマホに頼っている。現場対応の職員へは市が提供した機器を支給するなどしたほうがよい。

～教育～

委員：家庭にタブレット持って帰って、制限はあるが家庭で使っている。親がわからないので子供の使い方に指導できない。親の教育（リテラシー向上）を行ってほしい。

委員：小学生対象のプログラミング教室を実施した際、一緒に来た親御さんが積極的に参加していただいた。

委員：子どもが読書しなくなるのではないかと。本文字から想像力を膨らませてほしいので、こちらでもフォローしてほしい。

委員：デジタルコンテンツが増え、活字離れは進んでいる。教育にデジタルはなくてはならないが自分で考えるような教育コンテンツを取り入れることが必要。

委員：図書館協議会委員をやっているが、まさに電子図書との両立をお願いしている。

～農林水産業～

委員：農水省でもアプリ開発進んでいる。全体的なデータベースはそちらを活用し、個別のソフトを活用。開発費が課題。

緑1100 (CO2 排出ゼロ) に取り組んでいるところ。

委員：カーボンニュートラルは大切なテーマになる。

委員：全ての項目で、事業者の負担が重くならないように進めてほしい。高齢者、後継ぎいないので担い手を増やすことがひつよう。よそから来て農業をしてくれるような仕組み。八代に人を呼び込むような仕組みを考えてほしい。

委員：流出を防ぐだけでなく呼び込む施策が必要。

#### ～商工業～

委員：人吉のマルシェがあるが、人が動いてないので半分が売り切れ。物が無い。動いていない状況。人気があるお店に集中している。

坂本も人の動きが少なくなった時に商売維持できなくなるので、どう成功させるかが課題。ふるさと納税の調子が良い。物の流れの成功事例を活用してほしい。

委員：移動と買い物に不便を感じている。企画政策課と意見交換した中でデジタルに関しては通販がメインになるんだろうが、実際目で見て買いたい、出て人と会いたいというニーズもある。復興商店街の一角を月に一回借りてサロンを開いている。復興商店街は平日休み。人の流れが少ないから。イベントすると人は来るが週末限定。日頃の賑わいを出すのは難しいと思っている。

委員：②（求人情報と移住・定住情報などを、一元化し、世代のニーズや効果的な情報発信）をもっと少し膨らませないか。創業支援により新しい人を呼び込む。新しい人はSDGsなどにも関心が高く、いろんな方面でリーダーになってくれ、地域の活動が活発になると思う。創業により新しい人材を呼び込む。

#### ～観光・文化分野～

委員：Wi-Fi 整備についても観光分野に記載してはどうか。

事務局：ご意見のとおり記載させていただく。

委員：博物館やでんでん館があるが、市民に浸透していないのでは。全国からの集客が見込めないと感じている。デジタルミュージアムのような施設も中長期的には検討が必要。インバウンドが増えることも期待しているので検討会などを設置してほしい。

委員：国、県の方向性があるのであれば資料にだしてほしい。

委員：集客が課題なのにオンラインツアーでは、来なくていいとなってしまう。アクセスしやすい対策にはなっていない。

事務局：現地に人を呼び込む施策もやっている。こちらに掲載しているのは、デジタル化での方策のみを抜粋して載せているとご理解いただきたい。

委員：外国人への対応の課題も入れたほうが良い。国際化に対する対応。デジタル化を活用した多言語化など。

#### ～医療福祉分野～

委員：情報弱者への対応をどうするのか。特に生活困窮者の方について、通信機器を持っていない方は就労も困難。所在が分からない。デジタルで解決できないかもしれないが現場としては困っていること。貸付金はあるが、仕事がないので収入増えない。償還もどうなるか。取り残される方へのフォローを考えてほしい。



委員：防災にもかかわるが弱者は誰かが声をかける必要がある。お節介する人が必要。支援について手を上げない方へのお節介をどうするか。八代に住みたいという人を増やしたい。

委員：個別支援計画を作ることになっているのでその方には支援できる。災害時だけでなく平時についても福祉と連携して全体的な支援につながるよう、難しいがチャレンジしていきたい。

#### ～交通分野～

委員：デジタル弱者（11月21日づけ熊日）についてしっかり取り組んでほしい。

委員：市の乗り合いタクシーは多くの市民が知らない。ニーズはあるが乗車少ないのが課題。

乗り合いタクシーを使うためのイベントを行うなど、アプリの周知に加えて、乗合タクシー制度自体の周知も必要。

事務局：アナログとデジタルの融合が必要。本当の課題に対してどうアプローチするか検討していく。

#### ～行政サービス分野～

委員：市長市議選、選挙公報届かなかった。選挙公報をデジタル化してほしい。

委員：マニフェストの公開討論会は、青年会議所が行った。

委員：転入者に町内会に入らない市報もいらぬ、町内会に入ってもらえない。庁内会費がもらえない。市報配付ネットになればなくなるのか。

事務局：現時点では、明確な方針は出ていないが。

#### ～協働分野～

委員：行政は分野が広く、ホームページ情報多くてわからない。分野ごとにサブドメイン構築してはどうか。セキュリティ強化にも有効。分野ごとのHPつくって情報とれて、意見も出せるサイトをつくってはどうか。

公共施設のWi-Fiもセキュリティ大事である。

委員：情報の入れ物を作るうえではセキュリティとデザインが必要ということ。

委員：補助的にデジタルをつかう。対面を怠ってはいけない。スローライフを大事に思っている。

事務局：活発なご意見感謝する。いただいた意見については、計画策定の参考にさせていただく。

### (3) その他

次回の会議は、令和4年1月開催予定。文書や図表も含めた計画素案について、協議いただく想定。

## 3. 閉会

**令和3年度**

**第3回八代市デジタル化推進会議 会議録**

**(令和4年1月20日開催)**

**令和4年1月31日作成**

## 令和3年度第3回 八代市デジタル化推進会議 議事録

開催日時	令和4年1月20日（木） 午前15時00分～午前16時50分
開催場所	オンライン
出席委員	石川 真、今田 博士、田中 裕一、徳田 武治、 西崎 徳彦、西田 昭博、野田 昌博、松本 啓佑、村岡 正 以上9名
欠席委員	氏原 耕二 以上1名
事務局	（八代市） 政策審議監 村上 理一 （総務企画部） 総括審議員兼部次長 黒瀬 琢也 （デジタル推進課） 課長 鋤田 敦信、課長補佐 田中 博之、係長 坂本 友和、 主査 松田 昭男 （株式会社 SUNABACO（基本計画策定支援業務受託事業者）） 代表取締役 中村 良 代表取締役 若林 理恵子
会議資料	【資料1】八代市デジタル化推進基本計画（素案） 【資料2】八代市デジタル化推進会議資料 【資料3】第三次八代市行財政改革大綱一部見直しについて 【当日資料】キャッチフレーズ案
公開の状況	公開
傍聴	なし
議事	1 開 会  2 議 題 （1）八代市デジタル化推進基本計画素案について （2）その他 ・第三次八代市行財政改革大綱の一部見直し（八代市デジタル化推進基本計画関連分）について  3 閉 会

## ■議事進行・発言要旨

### 1. 開会

### 2. 議題

#### (1) 八代市デジタル化推進基本計画素案について

##### ～八代市デジタル化推進基本計画素案について～

###### <委員意見>

委員：市民に分かりやすい伝え方に工夫をお願いしたい。数値やグラフを使って欲しい。

事務局：素案には図・イメージが入っていない状態。今後、成案までに分かりやすい紙面づくりを行っていく。

委員：これらの取組を進めるためには、行政にかなり高い知識・能力が求められるが大丈夫か。

事務局：人材育成にさらに力を入れていく。

委員：この計画に掲載された取組は今後どのように実施されていくのか、優先順位は。

事務局：この計画に基づくアクションプランを作成し、ロードマップなどにより、取組の着実な実施を図っていく。優先順位が高いものは重点取組として整理している。

委員：避難スイッチはどのタイミングに設定するかが大切。

委員：教育分野では、学力向上の推進が重要。そのために ICT を利用した最新情報の取得、洗練された授業、分かりやすいドリルなどを取り入れて、とりこぼさない教育を実現して欲しい。

委員：電子図書だけでは学力向上につながらない場合がある。

事務局：電子図書は図書館に行けない場合や本自体が存在しない場合などのニーズにあわせて、本と並行して運用していく。

委員：公務支援システムは市独自で構築したものか。県域などで共同利用しているものか。

事務局：市独自のものである。

委員：公務支援システムについては、全県統一のソフトになることで各自治体の負担額を減らすことが可能。県に求めていってほしい。

委員：「スマート」という言葉にはどういう意味があるのか。

事務局：機械でできることは機械に任せて、人は人にしかできないことをやること。

委員：わかりやすい言葉で取組が簡単に理解しやすい資料などが欲しい

事務局：今後、本計画における取組が一目で分かる概要版を作成するため、そちらを参照して欲しい。

##### ～本市の目指す姿について～

事務局：八代市デジタル化推進基本計画における「本市の目指す姿」について、事務局より3つの案を提示させていただいた。委員の皆様のご意見をうかがいたい。

事務局：なお、「本市の目指す姿」や「スローガン」については、当会議で意見を踏まえ、市長が決定することになる。

###### <全委員から意見聴取>

会長：当会議において、最も賛同得ましたのは「デジタルでつながる未来都市」となりました。

(2) その他

～第三次八代市行財政改革大綱の一部見直し（八代市デジタル化推進基本計画関連分）について～

事務局：①行財政改革大綱の概要を説明。

②デジタル化推進基本計画の中で、行政内部の業務改革に関連する内容を大綱に反映する形で一部見直しを行い、取り組んでいくことを報告。

委員意見特になし

3. 閉会